

大曲地区減圧弁検討業務委託

令和 8 年 5 月

網走市

第1章 共通事項

第1条 業務の目的

本業務は、大曲地区の水道の施設整備にあたり、減圧弁の位置及び減圧方法等を検討し、配水管整備計画の立案を目的とするものである。

第2条 適用

本提案書は、網走市（以下「発注者」という）が発注する「大曲地区減圧弁検討業務委託」に適用する。

第3条 提案書、法令等の遵守

受託者は本業務の実施にあたり、本提案書及び関連する関係法令及び条例等を遵守しなければならない。

第4条 中立性の保守

受託者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

第5条 秘密の保持

受託者は、本契約の履行に伴い知り得た業務内容（個人情報及びその他の情報をいう、以下同じ。）の一切を他に漏らしてはならない。また、本契約の終了後又は解除後も同様とする。

第6条 主任技術者、照査技術者、担当技術者、作業場所

- 1) 受託者は、業務における主任技術者を定め発注者に通知する。
- 2) 業務を行う主任技術者は、技術士法（昭和58年法律第25号）に規定する技術士（上下水道部門の「上水道及び工業用水道」）の資格、かつ同業種の類似業務の履行経験がある技術者でなければならない。
- 3) 業務を行う照査技術者は、技術士法（昭和58年法律第25号）に規定する技術士（上下水道部門の「上水道及び工業用水道」）の資格、かつ同業種の類似業務の履行経験がある技術者でなければならない。
- 4) 受託者は、業務の円滑な進捗を図るため、十分な数の技術者を配置するとともに主任技術者、及び全ての技術者を業務期間中、北海道内の本社（本店）、又は支社（支店）に常駐しなければならない。

第7条 提出書類

受託者は、業務の着手及び完了にあたり、発注者に次の書類を提出し、市担当職員（以下

「担当者」とする)の承認を受けなければならない。

- (1) 委託業務着手届
- (2) 工程表
- (3) 主任技術者届及び経歴書
- (4) 照査技術者届及び経歴書
- (5) 業務計画書
- (6) 委託業務完了届
- (7) 納品書
- (8) 業務委託請求書
- (9) その他

第8条 資料の貸与及び返却

- 1) 担当者は、設計図書に定める図書及びその他関係資料を、受託者に貸与する。
- 2) 受託者は、貸与された図面及び関係資料の必要がなくなった場合は、直ちに担当者に返却する。
- 3) 受託者は貸与資料を丁寧に扱い、万が一損傷した場合には受託者が費用負担し修復する。

第9条 疑義の解釈

本提案書に定める事項について、疑義を生じた場合、または本提案書に定めない場合は、発注者・受託者協議のうえ、これの解決にあたるものとする。

第10条 成果品の提出

- 1) 受託者は、業務が完了した時、設計図書に示す成果品を業務完了報告書とともに提出する。
- 2) 受託者は、担当者の指示により、履行期間の途中においても、成果品の部分引渡しを行うものとする。
- 3) 発注者は、担当者の指示により、成果品を電子納品とすることが出来る。電子納品の形式及び仕様は担当者の指示による。

第11条 成果品の審査

- 1) 受託者は、業務完了時に発注者の成果品完了審査を受けなければならない。
- 2) 成果品の審査において、明らかに受託者の責による業務の瑕疵が発見された場合、受託者は直ちに当該業務の修正を行わなければならない。

第12条 環境対策

- 1) 受託者は、調査業務等の履行に伴って発生する、騒音、振動、地盤沈下、大気汚染、

水質汚染その他の環境への負荷の低減及び公害防止のために必要な措置を講ずる。

2) 受託者は、環境負荷の低減及び公害防止に関する関係法令等を遵守する。

第2章 業務一般

第13条 一般的事項

- 1) 受託者は、本業務の実施にあたって担当者と十分に協議、打合せを行い、業務計画書を作成し、承認を得て作業にあたらなければならない。
- 2) 主任技術者は、主要な打ち合わせ、及び成果品提出にあたっては、必ず出席・立会を行わなければならない。
- 3) 打合せは議事録を作成し、担当者に提出して内容を確認しなければならない。

第14条 図書作成基準等

受託者は、図書作成にあたっては特に指示のない限り本提案書、並びに下記の関係図書書類に基づき、作成業務を行わなければならない。

- 1) 水道法及び同施行令・同規則
- 2) 水道施設設計指針（公益社団法人 日本水道協会）
- 3) 水道施設耐震工法指針・解説（公益社団法人日本水道協会）
- 4) 水道維持管理指針（公益社団法人日本水道協会）
- 5) 水道事業実務必携（全国簡易水道協議会）
- 6) 水理公式集（土木学会）

第15条 参考文献等の明記

本業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記すると共に、引用の根拠などを明確にしなければならない。

第3章 委託業務の内容

第16条 委託業務の内容

委託業務の内容は次の各号のとおりである。

1. 設計協議

- (1) 初回協議：作業内容の把握、設計工程・方針、及び検討事項の内容等の確認を行うこと。
- (2) 中間協議：業務作業中に発生する諸条件の処理に関し確認を行うこと。
- (3) 最終協議：業務作業完了時における総括説明及び成果品納入、検収の立会を行うこと。

2. 大曲地区減圧弁検討

1) 設計計画

減圧弁設置は3基（検討範囲は減圧弁を含む前後の10m程度の配管を含めた延長）を想定しており、自動圧力制御方式、圧力開放型の自動減圧水槽等の組合せを検討し、減圧弁及び減圧弁室の材料選定に係る比較検討を行うこと。

2) 各種計算

水理計算を行い減圧弁の設置位置を設定すること。なお、計算に用いる水量実績等は発注者より提供するものとするが、水理計算に用いる計画時間最大水量については発注者、受託者の協議により決定するものとする。

地盤標高は、GISもしくは国土地理院の標高を用いること。

3) 報告書作成

検討結果を取りまとめ報告書を作成すること。

第17条 照査

受託者は業務を遂行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに厳密な審査を実施し、設計図書に誤りがないように努めなければならない。

第18条 成果品

成果品は下記内容のものを提出するものとし、様式は担当者と協議のうえで決定する。

- 1) 報告書（検討図面を含む） A4版 1部
- 2) 打合せ記録簿 A4版 1部
- 3) 照査報告書 A4版 1部
- 4) 上記1)～3)にかかる電子データ 一式